

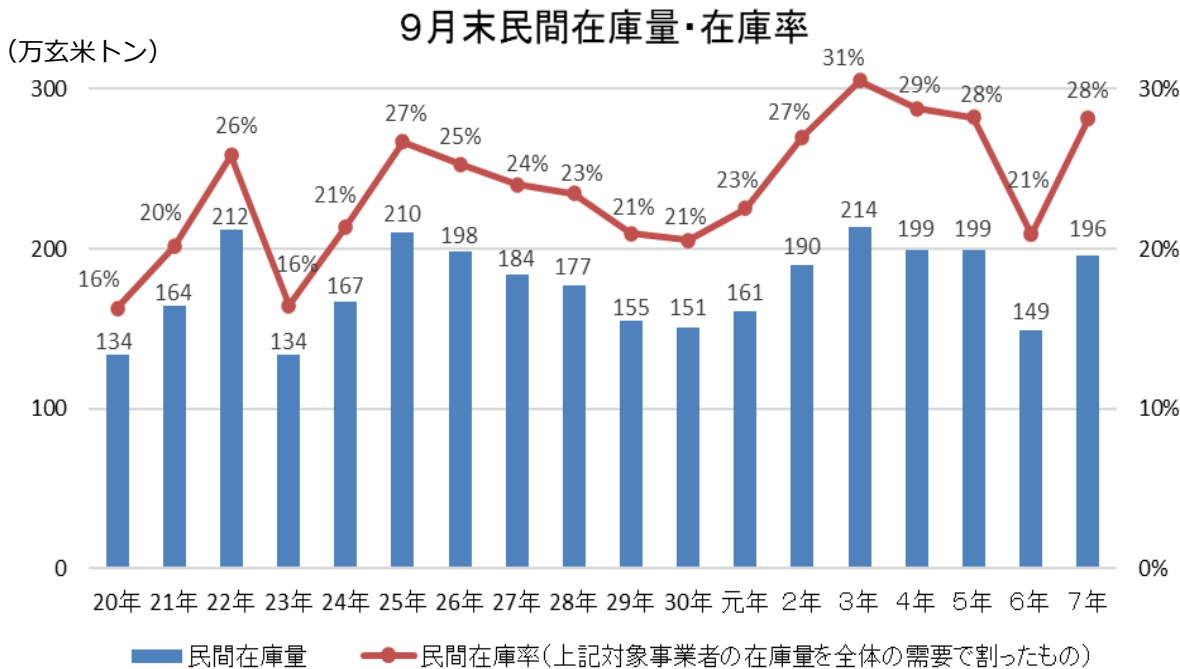
令和7年9月末民間在庫量のポイント

- 毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の集荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の78%をカバー(別紙参照)。
- 令和7年産米の集荷数量が前年を上回ったこと等により、令和7年9月末の民間在庫量は、196万玄米トンで前年同月差47万玄米トンと大きく増加(うち売り渡した政府備蓄米の数量は1.0万玄米トン)。

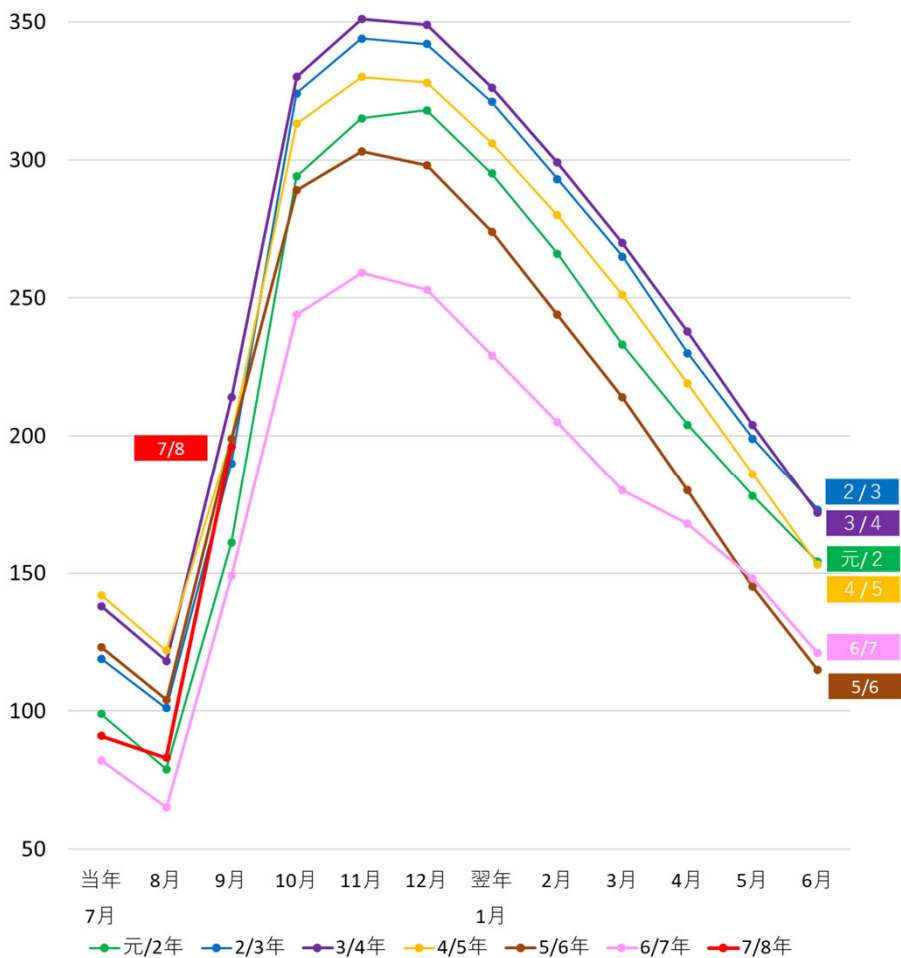
※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量(うるち米)

	出荷段階	販売段階	合計
6年9月末	113	36	149
前年差	▲49	▲2	▲51
7年9月末	143	53	196
前年差	+30	+17	+47



○ 民間在庫量の月別の推移(うるち米)



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等、販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等を対象。
※令和7年の在庫率は、7/8年の需要見通し(697~711万玄米トン)により算出。
※令和7年は、売り渡した政府備蓄米(入札及び随意契約による売渡し分)の数量(1.0万玄米トン：うち出荷段階0.0万玄米トン、販売段階1.0万玄米トン)を含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

(単位：万玄米トン)

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500玄米トン以上	年間取扱 4,000玄米トン以上	年間取扱 500～ 4,000玄米トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6 月末在庫 121万トン ➡ 9 月末在庫 196万トン (対前年+47万トン) 【出荷段階】 6 月末 84万トン ↓ 9 月末 143万トン (対前年+30万トン) 【販売段階】 6 月末 37万トン ↓ 9 月末 53万トン (対前年+17万トン)			
もち米				

155万トン
(※ 6 月末のみ調査)